

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	自主防災活動支援事業(南区)			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	南区役所	局	部	自治推進	課 評価責任者(課長名)
					東屋

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 10 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	災害による被害を最小限にするためには、地域住民自らが、日頃から防災に係る向上心を持ち、災害発生時には、災害対応の初期の段階で組織的に適切な行動を行うことが非常に重要なことから、地域における自主防災組織の設立とその活動支援事業が必要となったため。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	各自主防災組織とその活動				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	災害による被害を最小限にするために、各自主防災組織が機能的に活動できる組織づくりを支援するとともに、防災に関する知識や経験を持った「活動できる人材と人員」を育成・確保することを目的に支援を行う。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	自主防災組織の更なる活動の活性化と地域防災力の向上を促進させるため、各区や関係機関と連携し、各組織の活動状況や習熟度に応じた防災知識の普及・啓発、防災訓練の実施、講演会の実施等地域の実情に即した的確な育成・支援を行った。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (貸付) 各校区自主防災組織					

Ⅲ. 投入量

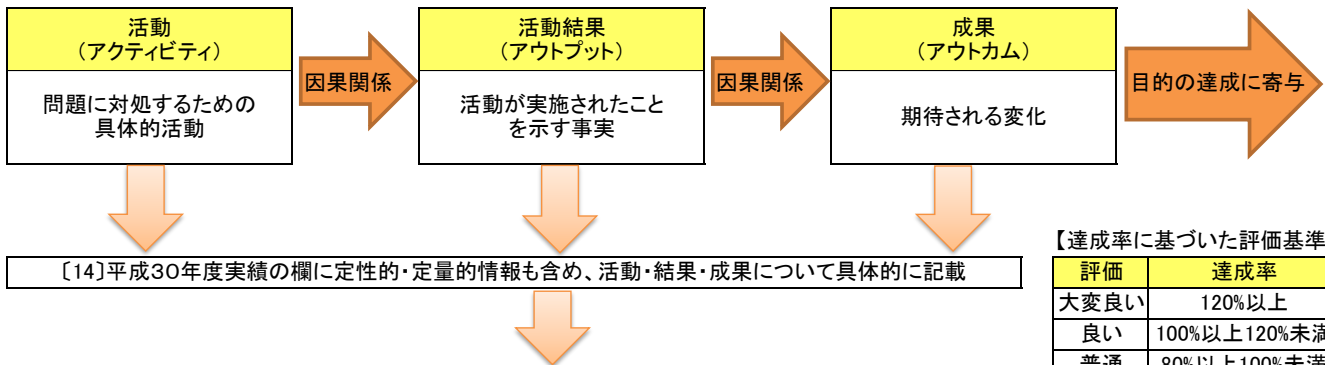
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	812	902	932	955	
11 主な事業費内訳	自主防災活動助成金	千円	811	900	932	950
	使用料及び賃借料	千円	1	2	0	5
		千円				
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
その他()	千円					
一般財源	千円	812	902	932	955	
12 人件費 (b)	千円	11,800	8,200	8,200	8,100	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	12,612	9,102	9,132	9,055	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	自主防災活動支援事業(南区)	シート番号	215-10
--------------	----------------	--------------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	各校区自主防災組織等より要請のもと、防災啓発出前講座を19回実施し、地震や災害を想定した自主防災組織による自主防災訓練に対し、支援を行ったことで、災害に係る対応能力のさらなる向上に寄与した。						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		防災啓発出前講座実施回数	回	目標値	12	15	10	16
				実績値	18	10	19	
				達成率	150%	67%	190%	
	評価	大変良い		少し悪い	大変良い			
	算出方法・設定根拠など							
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		自主防災組織の防災訓練実施回数	回	目標値	22	20	20	20
				実績値	19	21	20	
達成率				86%	105%	100%		
評価	普通	良い		良い				
算出方法・設定根拠など								

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	自主防災訓練について、毎年、ほぼ全校区の防災組織が積極的に実施し、地震や災害を想定した訓練が行われてきたが、災害に係る対応能力のさらなる向上のため、引き続き支援を行う必要がある。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。